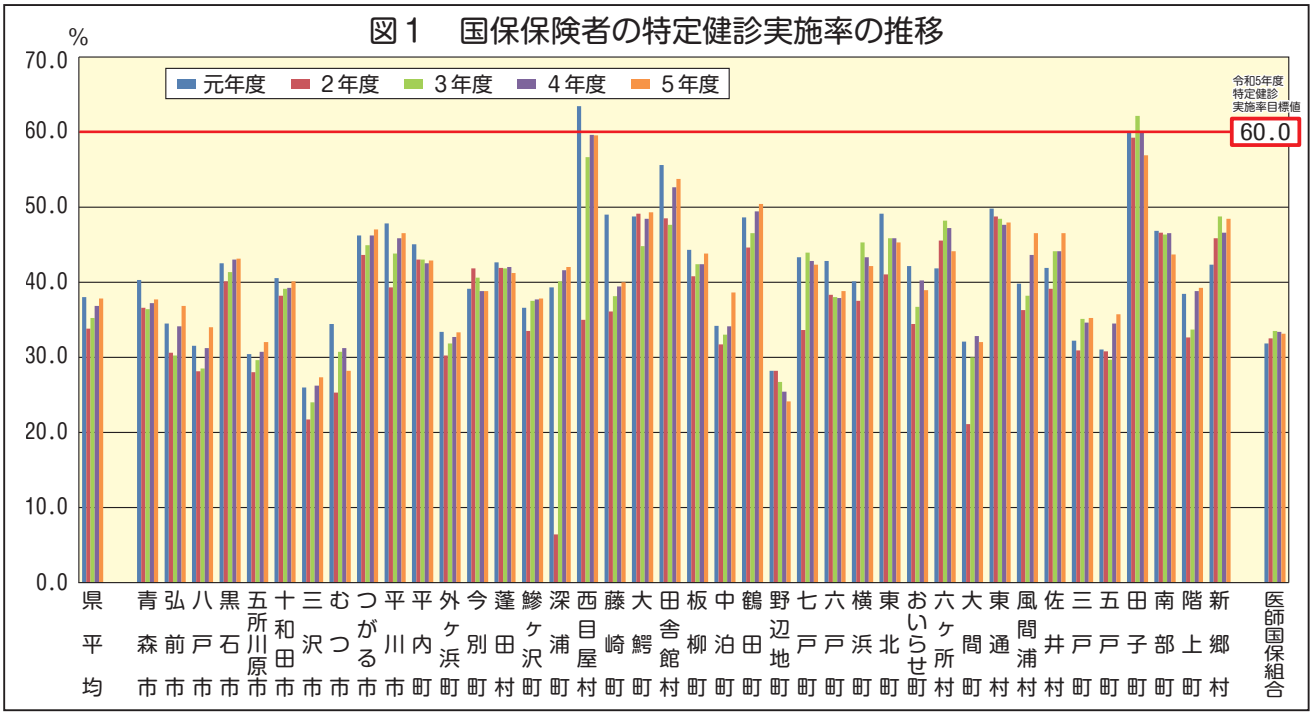
## 表１　特定健診・特定保健指導実施率の推移

| 市町村国保 | 特定健診実施率 | | | | | 特定保健指導実施率 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
| 青森県平均 | 38.0% | 33.8% | 35.2% | 36.8% | 37.8%（速報値） | 47.5% | 45.6% | 40.8% | 41.5% | 41.9%（速報値） |
| 全国平均 | 38.0% | 33.7% | 36.4% | 37.5% | － | 29.3% | 27.9% | 27.9% | 28.8% | － |
| 全国との差 | 0.0% | 0.1% | △　1.2% | △　0.7% | － | 18.2% | 17.7% | 12.9% | 12.7% | － |

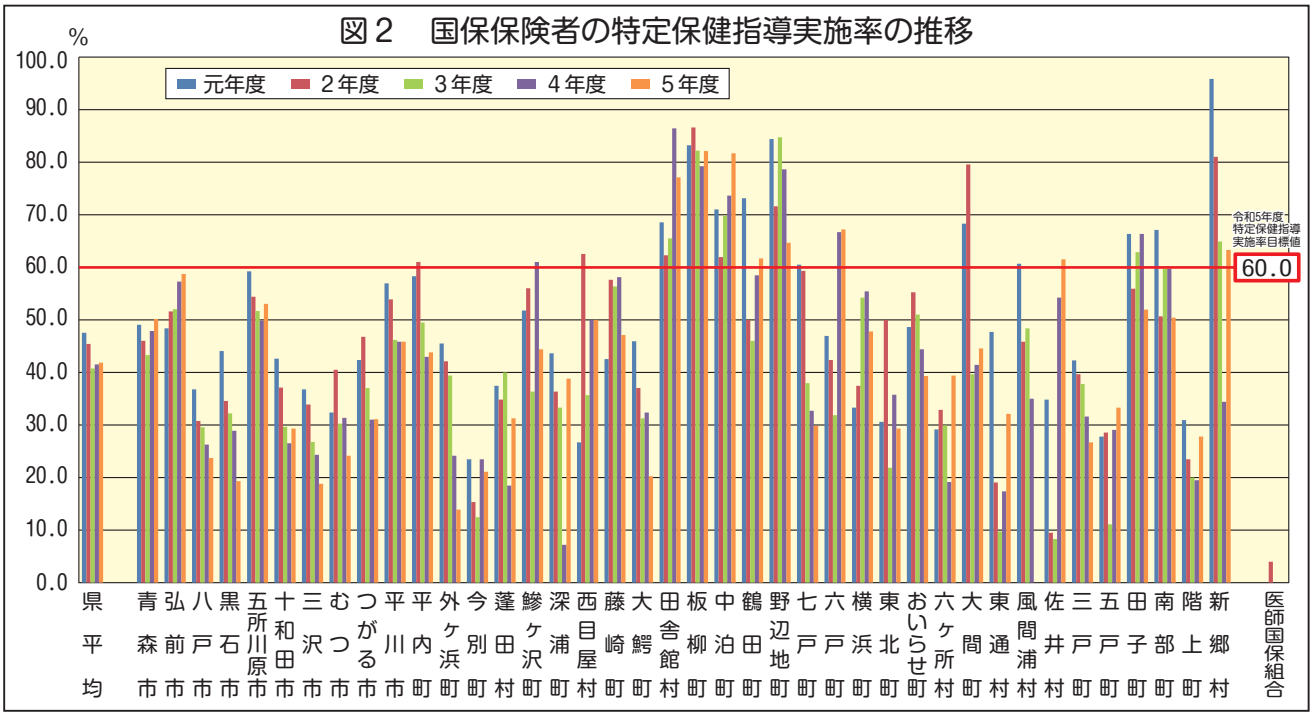
※１　令和元～４年度　厚生労働省まとめ
※２　令和５年度は特定健診等データ管理システムによる。
※３　全国平均、青森県平均の数値は国保組合を除く。

## 図１　国保保険者の特定健診実施率の推移




※　各年度の実施率は、それぞれ翌年度の９月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。

## 図２　国保保険者の特定保健指導実施率の推移




※　各年度の実施率は、それぞれ翌年度の９月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。

# データベースコーナー

## 速報！令和５年度特定健診・特定保健指導の実施状況

今回は、保険者が厚生労働省に毎年度報告することとされている特定健康診査等の実施状況に関する結果報告業務（令和５年度実施分・令和６年度報告分）が終了し、その速報値を取りまとめましたので概要をお知らせします。

本県における令和５年度実施分の特定健診実施率は新型コロナウイルス感染症の流行前（令和元年度実施分38.0％）に戻りきってはいないものの、前年度比1.0ポイント増の37.8％となりました。（表１参照）

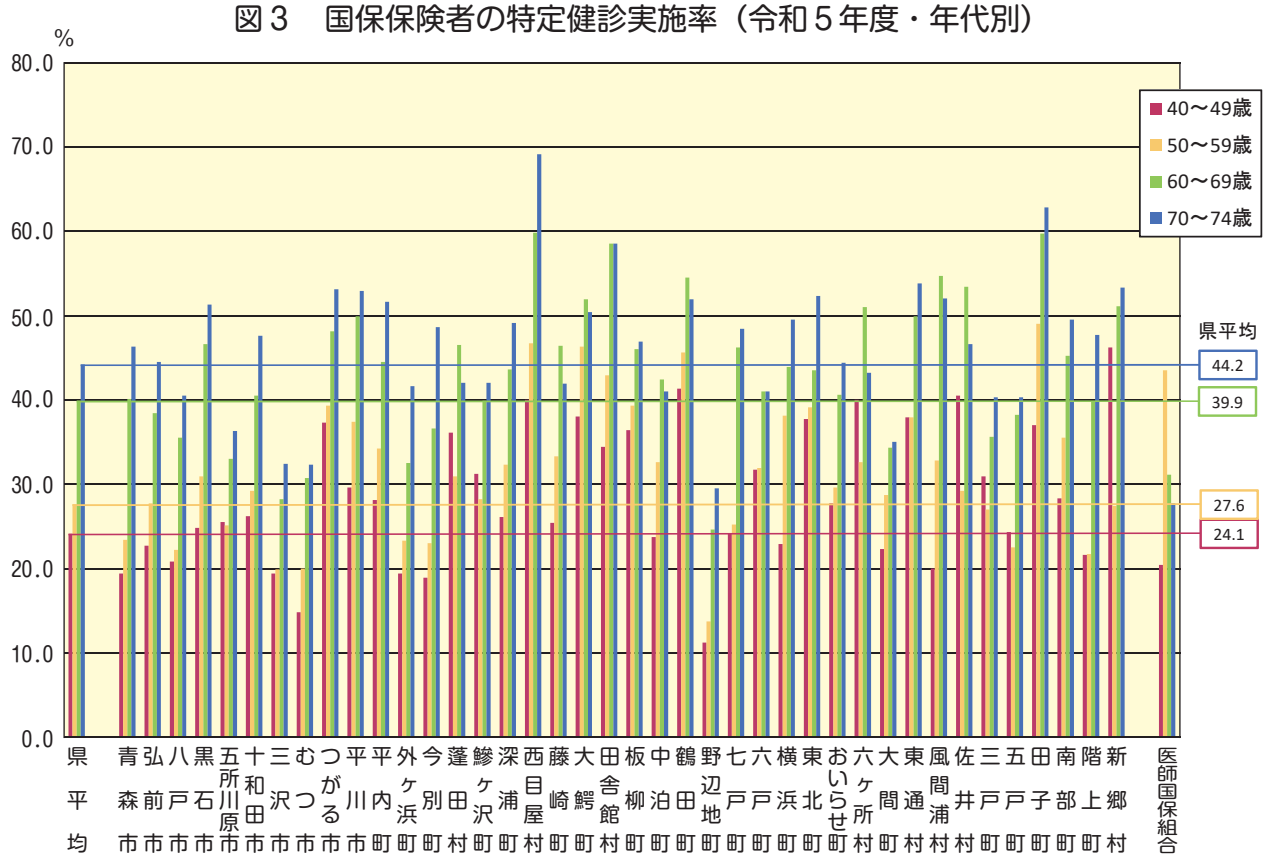
市町村別では27市町村で前年度より上昇しましたが、令和元年度実施率を上回ったのは19市町村となりました。（図１参照）

特定保健指導実施率は、前年度比0.4ポイント増の41.9％（表１参照）と２年連続で上昇しましたが、令和元年度と比較すると5.6ポイントの差があることから、生活習慣病の発症予防等のためにも実施率の向上が急務と言えます。

因みに、市町村別で見ると、前年度より上昇したのは19市町村にとどまっています。（図２参照）

特定健診の年代別実施率は、全国的に見ても40～50歳代の働き盛り世代が低い傾向にありますが、本県においても40歳代が24.1％、50歳代が27.6％（図３参照）と低い状況にあるため、保険者においては未受診理由に応じたアプローチを行うなど、働き盛り世代への受診勧奨をお願いします。

図３　国保保険者の特定健診実施率（令和５年度・年代別）




※　令和６年９月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。